



第58回大阪国際フェスティバル2020

JPX 日本取引所グループ Special



振替公演

2020年4月18日に
予定していた公演の
振替公演です。

元公演のチケットをお持ちのお客様は、
そのチケットでご入場いただけます。

交響曲 第3番「英雄」

Symphony No.3 "Eroica"

大阪フィルハーモニー交響楽団
× 井上道義

Osaka Philharmonic Orchestra × Michiyoshi Inoue

※指揮者が尾高忠明から変更になりました

©Hikaru Hoshi

交響曲第5番「運命」

Symphony No.5

関西フィルハーモニー管弦楽団
× オーギュスタン・デュメイ

Kansai Philharmonic Orchestra × Augustin Dumay

©s.yamamoto

4オケの 4大シンフォニー 2020

4 symphonies by 4 orchestras in Osaka 2020

ベートーヴェン生誕250年

交響曲第6番「田園」

Symphony No.6 "Pastorale"

日本センチュリー交響楽団
× 飯森範親

Japan Century Symphony Orchestra × Norichika Iimori

©s.yamamoto

交響曲第7番

Symphony No.7

大阪交響楽団
× 外山雄三

Osaka Symphony Orchestra × Yuzo Toyama

©飯島隆(大阪交響楽団) / ©S.Yamamoto(外山雄三)

2021 **3/3** [水] 14:00開演(13:00開場) *18:00終演予定
恒例のチケット・プレゼント抽選会も!

フェスティバルホール

大阪市北区中之島2-3-18

チケット料金(全席指定・消費税込) **チケット再販売開始!** 2020/11/28(土) 10:00~

S席 9,000円 / A席 7,500円 / BOX席 14,000円 / バルコニーBOX席(2席セット) 18,000円 / 学生席 1,000円

*バルコニーBOX席はフェスティバルホール チケットセンターでの電話予約・窓口販売のみ

*学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみで販売(限定100席 / 25歳以下 / 学生本人の名前で予約ください / 当日指定席と引き換え / 引き換え時、学生証をご提示ください)

ご予約・お問い合わせ

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 (10:00~18:00)

フェスティバルホール オンラインチケット <https://www.festivalhall.jp> (要事前登録)

主催: 朝日新聞文化財団、朝日新聞社、フェスティバルホール、大阪交響楽団、大阪フィルハーモニー協会、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団

特別協賛: 日本取引所グループ(JPX) 協賛: 朝日放送グループホールディングス、竹中工務店

※やむを得ない事情により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、チケットの変更・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

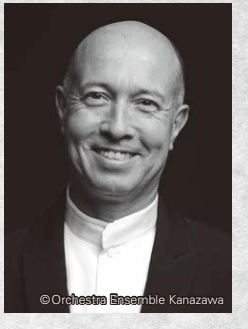
お待たせしました!
春の4オケ公演、
「シーズン2」始動!

2020年4月に予定していた「4オケの4大シンフォニー2020」は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、延期しました。改めてフェスティバルホールでスタートを切る新シリーズは「4オケの4大シンフォニー」。エネルギー・チャージ完了、満を持しての再始動! 音楽する喜びにあふれた熱い競演を、どうぞお楽しみください。

1 | 井上道義 [指揮] 大阪フィルハーモニー交響楽団

COMMENT

4つある大阪のオーケストラをフェスティバルホールで年1回聴き比べようという、世にも稀な!! フェスティバルの創設者で朝日新聞元社主の故・村上美知子さんも驚く、大阪でしか出来ない企画。本来なら当然それぞれの音楽監督が振るべきだ。しかし今回はコロナの影響で尾高君の予定が取れず、昔、のどの癌を患ったりしながら3年間首席をつとめた井上翁は「エロイカ」を、大フィル・ノスタルジーを胸に、オンライン配信でなくUber Eatsでなく直接! お届けします。
(2020年9月)



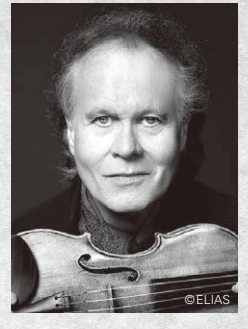
PROFILE

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で創立、1960年改称。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督・常任指揮者を務めた。大植英次、井上道義の後を受け、2018年4月より尾高忠明が音楽監督に就任。現在、フェスティバルホール(大阪・中之島)を中心に全国各地で演奏活動を展開している。尾高忠明は国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン響、ベルリン放送響など世界各地のオーケストラへ客演。現在、NHK響正指揮者、BBCウェールズ・ナショナル管絃指揮者、札幌響名誉音楽監督、東京フィルハーモニー響桂冠指揮者、読売日響名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管絃名誉指揮者を務めている。

2 | オーギュスタン・デュメイ [指揮] 関西フィルハーモニー管弦楽団

COMMENT

この演奏会は、普段別々に活動する大阪の4つのオーケストラを一晩で聴いてしまおうという、珍しくまた興味深い企画です。この機会に、それぞれのオーケストラの独自性を聴き比べ、違いを対比させることは、お客様や音楽関係の皆さまに楽しんでいただけることと思います。そして、この競演は、音楽に身を捧げる私たち音楽家同士が、互いに耳を傾ける特別な共演の場となることに間違いありません。



PROFILE

1970年発足の関西フィルは、オーギュスタン・デュメイ音楽監督のほか、首席指揮者藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者飯守泰次郎の3指揮者を擁している。2014年10月よりスタートしたBSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜23:30~)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡るヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。2020年に楽団創立50周年を迎える。オーギュスタン・デュメイは、クラシック界におけるヨーロッパの偉大な伝統の継承者、今世紀最高のヴァイオリニストのひとりとして国際的に高く評価されている。10年程前からは指揮者としても勢力的に活動しており、2011年から関西フィルの音楽監督を務めている。

3 | 飯森範親 [指揮] 日本センチュリー交響楽団

COMMENT

初回から参加させていただいている、大阪国際フェスティバル・春の4オケ公演。毎回、他のオーケストラの皆さんとの交流、そして演奏に触れることができ、この素晴らしい企画に関わる全ての皆様に感謝と敬意を表したいと思います。
今回演奏いたします「田園」は日本センチュリー交響楽団と私の十八番と言ってもよい作品です。ウィーン郊外の自然、そして空気感を私共の美しく透明感のある響きでお楽しみいただけましたら幸いです。



PROFILE

大阪府豊中市に本拠地を置くオーケストラ。1989年に活動を開始し、2019年には楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍し、飯森範親が首席指揮者を務め多彩な活動を行っている。ザ・シンフォニーホールや豊中市の芸術拠点である豊中市立文化芸術センターなどで定期的に演奏する他、地域発展や教育プログラムにも力を入れている。指揮者飯森範親は、桐朋学園大学指揮科卒業。国内外のオーケストラを数多く指揮、東京交響楽団正指揮者、いづみシンフォニーエッタ大阪常任指揮者、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者として活躍。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任。2007年より山形交響楽団音楽監督、2019年より山形交響楽団芸術総監督に就任。

4 | 外山雄三 [指揮] 大阪交響楽団

COMMENT

もう、いわば「恒例」になった音楽会だが、4つのオーケストラがひとつの会場に集まって、それぞれ演奏を披露するという形は、出演する私たちにとっても新鮮な刺激である。現在の自分たちの姿を見てもらいたいと曲目を選び、慎重に準備するが、演奏というものは見せかけを飾ることはできないと私は考えている。ベートーヴェンの「7番」という、私たちが仰ぎ見る名作を、力を尽くして演奏したい。



PROFILE

1980年創立の大阪交響楽団は、永久名誉楽団代表・敷島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!」をモットーに提唱。いつも聴衆を「熱く」感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。ミュージック・アドバイザー外山雄三、正指揮者 太田弦。外山雄三は1931年東京生まれ。1952年、N響に打楽器練習員として入団。1956年9月にN響を指揮して指揮者デビュー。以来各オーケストラに数多く客演。海外のオーケストラや国際コンクールなどにも度々招かれている。作曲家としての活動も旺盛で、その範囲はオペラ、バレエ、交響曲、協奏曲など多岐にわたり、「管弦楽のためのラプソディー」は特に有名。現在当団ミュージック・アドバイザーの他、N響正指揮者を務める。

朝日カルチャーセンター・リハーサル見学会

公演当日に向けてエネルギーが高まる前日リハーサル。二つの楽団のホール練習を1時間ずつ見学します。

日時/会場: 2021年3月2日(火) 12:00~14:30(予定)、フェスティバルホール 内容: 12:10-13:10 大阪フィルのリハーサル 後半を見学 / 休憩20分 / 13:30-14:30 関西フィルのリハーサル前半を見学 参加料: 2,200円(消費税込み) 定員: 50人

●先に公演チケットをフェスティバルホール、各プレイガイド等でお求め下さい。見学会申し込みの際に席番を確認させていただきます。見学会のみの申し込みは受け付けません。●見学席は当日、ご案内します。●先着順、定員になり次第締め切ります。

【ご予約】朝日カルチャーセンター中之島 06-6222-5224 (月~土 9:30~18:30、日・祝除く) ※受付は電話のみ。

詳細は <https://www.asahiculture.jp> ※2020年11月30日(月)受付開始 主催: 朝日カルチャーセンター、朝日新聞文化財団、朝日新聞社

恒例のお楽しみ企画は今回も!
プレゼント抽選会

4楽団が2021年度に開催する
演奏会のチケットをプレゼント。
半券は最後まで捨てないで!